

イベント名：「若者と有識者との対話セッション」

イベント主催者：若者と有識者との対話セッション実行委員会

開催日時：12月4日（火）

連絡先：hirokisato_japan@yahoo.co.jp

**「アジア・太平洋水サミット」オープンイベント
「若者と有識者との対話セッション」における
若者から有識者に対する提案とアジェンダ**

私たち若者は、災害を受けた被災地の一日も早い復興に向けて、ユース災害復興ボランティアネットワークを構築すると共に、よりよい水環境の提供のため、以下のことを実行し、また提案していきます。

I. 私たちが決意したこと（『アジア・太平洋ユース水宣言』より）

1. 被災者が安心した日常生活を取り戻すための力を提供し、被災地を元気にするため、迅速な支援を行うことを約束します。
2. 被災地の非常事態情報を正確に察知し、広域に瞬時に発信します。
3. 二次災害の可能性を十分に認識し、個人の意志の下に被災地へ駆けつけます。
4. 各地域で活動している若者の顔が見える関係を記したユースアクションマップを作成します。
5. アジア・太平洋地域における風水害の実例や防災の智慧を学び、継続的な交流を図ります。
6. 中学・高校生の子供達へ、私たちの活動を引き継いでいきます。具体的には、学校などで防災に関するゲストティーチャーとして、あるいは子供向けイベントのスタッフとして参加します。
7. 非常時に素早く行動がとれるように、各地の大学生との連携を構築し、定期的に大学生などの活動交流会を実施していきます。

II. 私たちの提案・要望

A) 流域の市民団体の方々へ

1. 私たち若者も楽しく参加できる機会を提供し、地域のイベントを通して情報交換が行えることを望みます。
2. 被災地の住民団体から、被災地のソフト面での情報提供を望みます。
3. 災害時の受け入れ先を明確に示すことを望みます。
4. スキルを持っている人に講習会や研修会の実施を望みます。
5. 学校などで防災、及びより良い水環境関連活動に関するゲストティーチャーとして、あるいは子供向けイベントのスタッフとして、中高生達に対する引継の機会の提供を望みます。

B) 行政・企業の方々へ

1. 若者の迅速な支援を行うために、支援団体、地域団体に対し、情報提供を始めとするサポートを望みます。
2. 学校などで防災及びより良い水環境関連活動に関するゲストティーチャーとして、あるいは子供向けイベントのスタッフとして、中高生に引き継ぐ機会の提供を望みます。
3. 被災地の住民団体から、被災地のハード面での情報提供を望みます。
4. スキルを持っている人に講習会や研修会の実施を望みます。
5. 私たちの作成した「ユースアクションマップ」の積極的な活用を望みます。また、専門家の協力を望みます。
6. 水交換留学制度の実現に向けての協力を望みます。具体的には、資金面、制度面への協力（相手国との関係の確立、日本への招待、日本から送り出しのサポートなど）と共に、内容の充実、若者の積極的な参加の促進への協力を望みます。
7. 二次災害の可能性の認識のため、正しい災害情報の提供を望みます。
8. 大学生などの活動交流会を、全国各地、持ち回りで実施できるような環境の提供を望みます。この九州での開催を第1回として、全国、そしてアジア・太平洋各地で第2回以降が開催できることを期待します。

以上の点に関し、私たち若者は、行動を約束します。

その実現のために、有識者の皆様の積極的な提案と、意見交流を期待します。